

令和元年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	普及	題名	黒毛和種県産種雄牛「安久勝晃（やすひさかつあき）」の作出		
[要約] 平成29年度に開始した現場後代検定で「安久勝晃」が脂肪交雑および上物率で過去最高の成績を収め県の基幹種雄牛として選抜された。産肉能力推定育種価は枝肉重量、脂肪交雑で上位1/10以上（H評価）と優れ、特に脂肪交雑は本県基幹種雄牛で1位である。					
キーワード	黒毛和種	種雄牛	現場後代検定	畜産研究所	種山畜産研究室

1 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進し黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

2 成果の内容

(1) 「安久勝晃」号の概要（表1、図1）

登録時（18.6か月齢）の審査得点は83.3点。平成26年5月25日生まれ、奥州市前沢産。父は「安福久」。母の父は「平茂勝」、母の祖父は「安平」。

美点：中軀、後軀、均称、品位、資質、乳徴

(2) 現場後代検定成績（表2）

調査頭数は19頭（去勢8、雌11）で枝肉重量498.7kg、ロース芯面積63.7cm²、皮下脂肪の厚さ2.7cm、歩留基準値74.2、脂肪交雑（BMSNo.）8.3と産肉能力に優れており、特に脂肪交雑は本県で過去最高の成績である。また、上物率（肉質等級4以上の割合）は100.0%で、「菊勝久」と並び本県過去最高の成績である。

(3) 産肉能力推定育種価（表3、図2）

枝肉重量、脂肪交雑が上位1/10以上（H評価）と優れている。
脂肪交雑は、本県基幹種雄牛で1位の成績である。

3 成果活用上の留意事項

(1) 1代祖が同じ「菊勝久」と産肉能力を比較すると、「安久勝晃」は枝肉重量、皮下脂肪の厚さ、脂肪交雑に優れ、ロース芯面積、バラの厚さ、歩留は劣る。

現場後代検定におけるA5率は、「安久勝晃」が68%で「菊勝久」の45%を上回る。

(2) 県内黒毛和種雌牛との交配産子近交係数が10.0%以上の割合は12.2%であり（参考1）、そのうちの3代祖までに「安福久」、「平茂勝」を含まないものは1.4%である。近交係数の上昇は産肉能力等に負の影響を与えることが報告されていることから、供用の際は「岩手県黒毛和種交配支援システム（IJBBA）」等を用いて確認することが望ましい。

(3) （公社）全国和牛登録協会が規定する遺伝的的不良9形質のうち、メラニン細胞刺激ホルモン受容体遺伝子型（MSHR）を保因している。

※ 平成29年7月に新たに追加された形質「バーター症候群1型」については検査対象外。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者等

県内全域（黒毛和種飼養農家）

(2) 期待する活用効果

黒毛和種の改良推進（特に枝肉重量、脂肪交雑の改良）
凍結精液供給本数 4,800本/年

5 当該事項に係る試験研究課題

(235) 黒毛和種産肉能力検定（間接法・現場後代検定法）[H1～R5/県単]

6 研究担当者

篠崎 創

7 参考資料・文献

(1) （公社）全国和牛登録協会「和牛登録事務必携（平成29年度版）」（2017）

(2) 北海道立総合研究機構畜産試験場 家畜研究部 肉牛育種科「育種価と近交係数に基づいた黒毛和種の交配計画」（2009）

8 試験成績の概要

表1 「安久勝晃」の概要

登録記号番号	黒原 5944
体型得点	83.3
生年月日	平成26年5月25日
産地	奥州市前沢
体型美点	中軀、後軀、均称、 品位、資質、乳徴

	1代祖	2代祖	3代祖	4代祖
安福久		安福165の9	安福(岐阜)	安谷土井
		もとじろう	しげふじ13の7	茂富士
			紋次郎	安美土井
ゆみこ		平茂勝	もとひかり	糸光 ◆
			第20平茂	気高
		まゆみ	ふくみ	宝勝
			安平	安福(宮崎)
		まゆみ25	糸秀	

図1 「安久勝晃」の血統

表2 現場後代検定成績 (調査頭数：去勢8、雌11)

項目	平均	±	標準偏差	「菊勝久」成績
枝肉重量 (kg)	498.7	± 46.8		496.3 ± 55.1
ロース芯面積 (cm ²)	63.7	± 10.8		65.6 ± 6.0
バラの厚さ (cm)	7.8	± 0.6		8.5 ± 0.9
皮下脂肪の厚さ (cm)	2.7	± 0.8		2.8 ± 0.6
歩留基準値	74.2	± 1.0		74.9 ± 1.0
脂肪交雑 (BMSNo.)	8.3	± 1.2		8.0 ± 2.0
肉質等級 (頭)	A-5:13、A-4:5、B-4:1			A-5:9、A-4:11
上物率 (%)	100.0	(19/19)		100.0 (20/20)

表3 推定育種価 (令和元年8月評価、後代数23)

項目	育種価 (正確度)	σ値	HABC 評価※	県有基幹 種雄牛順位
枝肉重量	91.753 (0.909)	1.73	H	8
ロース芯面積	17.112 (0.898)	1.22	A	6
バラの厚さ	0.764 (0.878)	-0.47	C	31
皮下脂肪の厚さ	-0.683 (0.911)	1.22	A	11
歩留基準値	2.240 (0.911)	0.55	B	16
脂肪交雑基準値	3.443 (0.926)	2.21	H	1

※集団中の位置:「H」≥ 上位1/10 > 「A」≥ 上位1/4 > 「B」≥ 平均 > 「C」

※「H」の項目、σ値、HABC評価はゴシック体太字

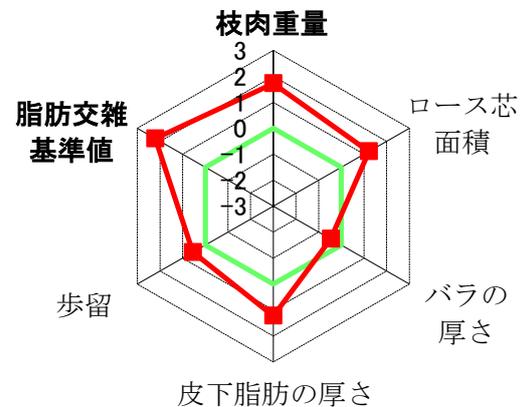
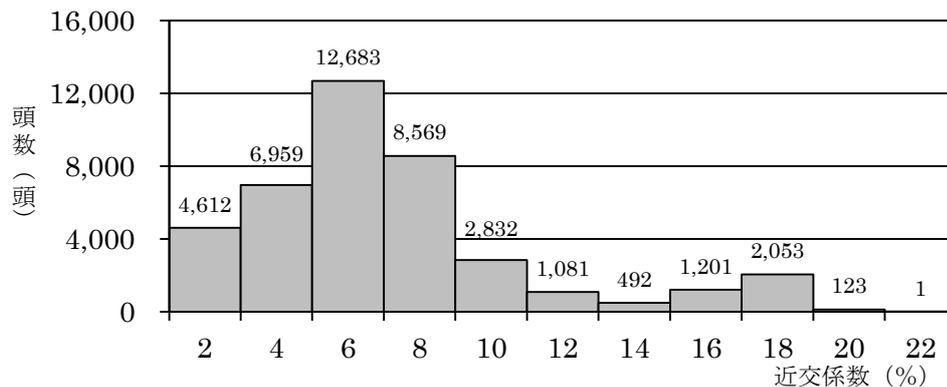


図2 推定育種価



参考1 IJBBA 区分「推定※」・「期待」との交配産子近交係数分布

※最終分娩：平成28年8月以降